



# 週間情報



No.0443

発行日 令和4年11月15日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03(3234)1321

## 両会の動き

### ◆ 消防実務講習会（救急コ・メディカルセミナー（第43回））を開催

一般財団法人全国消防協会東海地区支部

一般財団法人全国消防協会東海地区支部では、令和4年10月28日（金）、名古屋市消防局昭和消防署において、消防実務講習会（救急コ・メディカルセミナー（第43回））を開催しました。

講習会では、日本赤十字社京都第一赤十字病院高階謙一郎氏から「京都アニメーション放火火災等の対応を踏まえた火災における多数傷病者発生時の対応」についてご講演いただきました。

その後、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院稲田眞治氏及び名古屋市消防局東昇生氏を交えパネルディスカッションを行い、大変有意義な講習会となりました。

なお、令和4年11月14日（月）から令和5年2月10日（金）までの間、本講習会の様子及び症例・研究発表を撮影した動画を、全国消防長会情報管理システムを通じて全国の消防職員に対してオンデマンド配信しています。

今後も救急業務の円滑化を図るため、さまざまな取り組みを行ってまいります。



【講習会の様子】

## 消防本部の動き

### 訓練

#### ◆ 水難救助合同訓練を実施

##### 茨城西南広域消防本部（茨城）

茨城西南広域消防本部では、令和4年10月25日（火）、境町利根川河川敷内において、対岸に位置する野田市消防本部と水難救助合同訓練を実施しました。

この訓練は、水難救助体制の充実・強化を図り、消防隊員がより安全かつ効果的に活動することを目的として実施したものです。

また、当消防本部所有の水上バイクと野田市消防本部所有の高機能救命ボートの展示や、意見交換等も行いました。

今後も訓練や研修会を継続し、地域住民へのサービス向上と隊員の安全確保を目的に知識の習得と技術の研さんに精進してまいります。



【訓練の様子】

#### ◆ LPガスの漏えいを想定した消防訓練を実施

##### 松江市消防本部（島根）

松江市消防本部では、令和4年10月25日（火）、LPガスの漏えいを想定した消防訓練を実施しました。

この訓練は、株式会社エルピーガスセンター松江の協力のもと、10月23日（日）から29日（土）までの「高圧ガス保安活動促進週間」に併せ、高圧ガスの事故発生時における対応の確認や、事業所と消防機関との協力体制の確立を目的に実施したものです。

当日は、高圧ガス輸送車同士の交通事故によりLPガスが漏えいしたとの想定で、ドライバーによる119番通報、災害拡大防止措置、消防隊による危険排除、救助隊による要救助者の救出までの一連の流れを確認しました。

今後も、関係機関との合同訓練を積極的に実施し、消防力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】



## ◆ 避難訓練コンサートを実施

### 札幌市消防局（北海道）

札幌市消防局では、令和4年10月26日（水）、札幌文化芸術劇場hitaru（ヒタル）において、避難訓練コンサートを実施しました。

このコンサートは、公演中に災害が起こった際に、同劇場の施設職員が適切に初動対応力するとともに、利用客が円滑に避難することを目的として、同劇場開設当初から札幌市消防音楽隊が出演協力を行っているものです。

また、観客には、公演中または公演後に避難要領を体験してもらっており、施設職員の誘導で、安全に避難する方法を理解してもらう取り組みも行っています。

今回は、コンサート中に大規模な地震が発生し、同劇場の施設から火災が発生したとの想定で、公演中止の早期判断を行うとともに、約500人の観客等の避難誘導を行うなど、50人の施設職員が真剣に訓練に取り組みました。



【コンサートの様子】



【訓練の様子】

## ◆ 集団災害救急事故対応訓練を実施

### 稲沢市消防本部（愛知）

稲沢市消防本部では、令和4年10月26日（水）、集団災害救急事故対応訓練を実施しました。

この訓練は、マイクロバスと普通乗用車2台の事故により、多数のけが人が発生するという想定で、現場指揮本部と救急管理所の間の連携強化と迅速・的確な傷病者観察により、医療機関への搬送時間の短縮を図ることを目的として実施したものです。

今後も訓練を重ね、早期の事態の収束と被害の軽減を目指し、さらなる災害対応力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

## ◆ 電車事故対応訓練を実施

### 若狭消防組合消防本部(福井)

若狭消防組合消防本部では、令和4年10月27日(木)、JR西日本敦賀地域鉄道部と電車事故対応訓練を実施しました。

この訓練は、近年、大規模な風水害や地震等により鉄道が被災する災害が発生していることから、鉄道事故における初動体制の確立およびJR西日本との連携強化を図ることを目的に実施したものです。

当日は、電車事故時の初動対応と多数傷病者の救出訓練後、JR西日本との情報交換会を実施しました。

今後も訓練を継続し、あらゆる災害に迅速・的確に対応できるよう災害対応力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

## ◆ 岡山県警察本部警備部機動隊と合同訓練を実施

### 倉敷市消防局(岡山)

倉敷市消防局では、令和4年10月27日(木)、一級河川である高梁川において、岡山県警察本部警備部機動隊と合同訓練を実施しました。

この訓練は、救助活動を共に行う関係機関と連携を図り、大規模災害等の発生時に迅速・的確な救助活動を行うことを目的として実施したものです。

当日は、水上オートバイの講習を受講した当局職員が講師となり、水上オートバイのオペレーター技術、レスキュー方法の講義を実施しました。

今後も、関係機関との連携強化に努めてまいります。



【講義中の展示訓練の様子】



【講義の様子】



## ◆ 高速道路上での多重衝突事故を想定した合同訓練を実施

### 埼玉西部消防局（埼玉）

埼玉西部消防局では、令和4年10月28日（金）、関越自動車道高坂サービスエリアにおいて、高速道路上での多重衝突事故を想定した合同訓練を実施しました。

この訓練は、県内10消防本部（局）、東日本高速道路株式会社関東支社（所沢、高崎両管理事務所）、埼玉県の13機関で構成する関越自動車道埼玉県消防連絡協議会が主催となり、事務局が当消防局、訓練企画を比企広域消防本部が担当し、関係機関と連携の強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、当協議会訓練参加会員11機関、埼玉DMAT（3医療機関）、埼玉県警察本部交通部高速道路交通警察隊、埼玉県防災航空隊の計16機関160名が参加し、防災ヘリが上空から情報収集、警察・消防が連携して救出活動、埼玉DMATが多数傷病者に対する救護活動を実施しました。



【訓練の様子】

## ◆ 岩手県総合防災訓練を実施

### 大船渡地区消防組合消防本部（岩手）

大船渡地区消防組合消防本部では、令和4年10月29日（土）、岩手県、大船渡市、陸前高田市、住田町と共催で岩手県総合防災訓練を実施しました。

この訓練は、東日本大震災、平成28年台風第10号、令和元年台風第19号等の大規模災害の教訓を生かし、「自助」、「共助」、「公助」の強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、降り続いた雨により大規模な土砂災害が発生し、家屋、道路等への損害とともに、多数の死傷者が発生したとの災害想定で、災害救助犬との連携による堆積した土砂や倒壊家屋からの救出救助活動、DMATとの連携による応急救護所の運営、多数傷病者のトリアージと搬送などを実施しました。

今後も、県・市町・防災関係機関相互の連携と協力体制の強化を図り、大規模災害への対応の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

## ◆ 救助隊合同訓練を実施

### 豊中市消防局（大阪）

豊中市消防局では、令和4年11月5日（土）、休庁日の豊中市役所において、救助隊合同訓練を実施しました。

この訓練は、市内3救助隊と当消防局が管轄する能勢町分署の消防隊の計4隊20人が参加し、救助技術の統一化と底上げを図ることを目的として実施したものです。

当日は、訓練想定をブラインド形式で実施しました。災害現場に近い環境での訓練に多くの隊員が緊張しながらも、安全で確実な活動を心がけて実施することができました。また、当務員の高度救助隊が、訓練参加隊員の技術を客観的に評価し、訓練後に検証も行いました。

今後も、市有施設での訓練を定期的に計画し、救助技術の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

## 研修等

### ◆ 交通事故防止研修会を実施

### 白河地方広域市町村圏消防本部（福島）

白河地方広域市町村圏消防本部では、令和4年10月25日（火）、26日（水）の2日間、小隊長以上の職員を対象とした交通事故防止研修会を実施しました。

この研修会では、安全運転管理者が講師となり、安全運転の管理方法、小・中隊長の責務、事故事例の提示について講義するとともに、KYT（危険予知訓練）を行いました。

研修会を通じて、通常時の運転から基礎に立ち返り、基本的な安全の確認や運転操作の励行に努めることを確認しました。

今後も、全職員で交通事故の防止を図ってまいります。



【研修会の様子】



## ◆ 鉄道事故に対する対応研修会を実施

### 厚木市消防本部（神奈川）



【研修会の様子】

厚木市消防本部では、令和4年10月25日（火）、26日（水）の2日間、鉄道事故に対する対応研修会を実施しました。

この研修会は、鉄道事故発生時における救助・救急対応能力の向上を図る目的で実施したものです。

両日とも、小田急電鉄株式会社の方を講師としてお招きし、二次災害の防止措置、鉄道事業者との連携などについて質疑応答を交えた中にご講義いただき、大変有意義な研修会となりました。

今後も、活動時における安全確保の徹底を図るとともに、より迅速・的確かつ、効果的な活動ができるよう、災害対応能力のさらなる強化を図ってまいります。

## ◆ 消防職員のハラスメント研修会を開催

### 防府市消防本部（山口）

防府市消防本部では、令和4年10月27日（木）、28日（金）の2日間、中堅職員約70人を対象に消防職員のハラスメント研修会を開催しました。

両日とも、一般社団法人日本防災教育訓練センター代表理事サニーカミヤ氏を講師にお招きし、ワークショップ形式で、問題点の洗い出しとその解決策についての認識を共有することができ、未来の組織作りにつながる貴重な機会となりました。

今後も、より良い労働環境を整備し、常に職員一人一人が高いプロ意識を心掛けながら、市民の安全・安心のため尽力してまいります。



【研修会の様子】

## その他

### ◆ 「一日ガス保安隊長」の委嘱式を実施

浜松市消防局（静岡）

浜松市消防局では、令和4年10月25日（火）、「一日ガス保安隊長」の委嘱式を実施しました。

これは、10月23日（日）から29日（土）までの「高圧ガス保安活動促進週間」と10月の「LPガス消費者保安月間」に併せ、地元の人気タレントの久保ひとみさんを「一日ガス保安隊長」に任命したものです。

当日は、浜松駅で多くの市民に対してガスの危険性について注意喚起を行うとともに、事業所への立入検査に同行するなど、ガスを安全・安心に使用するためのPRを行うことができました。

今後も、ガスの保安の確保に努めてまいります。



【委嘱式後の記念撮影】



【市民への注意喚起の様子】

### ◆ 動画「点検してみよう！住宅用火災警報器」をYouTubeで配信

岩見沢地区消防事務組合消防本部（北海道）

岩見沢地区消防事務組合では、令和4年10月26日（水）、管内の住宅用火災警報器の維持管理促進を目的として制作した動画「点検してみよう！住宅用火災警報器」をYouTubeで配信しました。

この動画では、「動画時間を短く、点検が難しいイメージにならないように」をテーマにし、当消防本部で製作した住宅用火災警報器付きのドールハウスを活用しながら、実際の点検要領を説明しています。

動画を閲覧した方からは、「今日、家に帰ったら点検してみようかな。」と仰っていただき、動画配信の効果を感じています。

今後は、この動画を効果的に広く活用できるよう、管内の消防広報誌等に動画配信の二次元コードを掲載するなど、企画・立案してまいります。ぜひ、ご覧ください。



【動画の様子と動画配信先二次コード】



【動画の様子】



## ◆ 火災予防啓発車両の寄贈

### みやま市消防本部（福岡）

みやま市消防本部では、令和4年10月26日（水）、みやま市防災協会設立50周年記念式典において、火災予防啓発車両の寄贈を受けました。

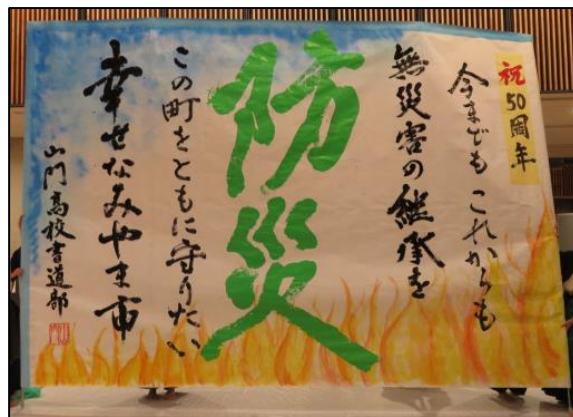
同協会は昭和47年に発足し、防災講習会をはじめ、住宅用火災警報器の設置促進等、防火思想の普及・宣伝のほか、研修視察等、会員相互の融和親睦を図ってまいりました。

寄贈車両は、街頭啓発、防火広報など火災予防啓発活動に活用させていただきます。

また、式典の中で、山門高校書道部の書道パフォーマンスにより作成された作品を、消防本部1階玄関ホールに掲示する予定です。



【寄贈車両】



【書道パフォーマンスにより作成された作品】

## ◆ 職員研修会を実施

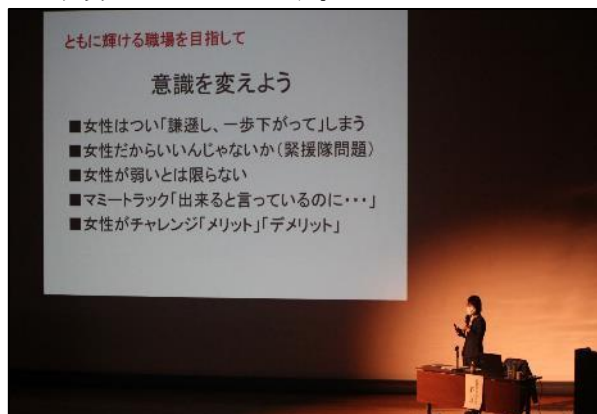
### 常総地方広域市町村圏事務組合消防本部（茨城）

常総地方広域市町村圏事務組合消防本部では、令和4年10月28日（金）、職員研修会を実施しました。

この研修会は、消防庁女性消防吏員活躍推進アドバイザーである相模原市消防局野口深雪<sup>みゆき</sup>氏を講師に迎え、「ともに輝ける職場を目指して」をテーマにご講義いただきました。

講義では、セクシャルハラスメント、マタニティハラスメントの注意点、育休職員の復帰支援や女性専用施設の整備に関する事などについて、現職の女性消防吏員の視点からお話しいただき、職員は熱心に聴講していました。

この研修を通じてハラスメントを未然に防ぎ、全職員が明るい職場の中で現場活動に専念できるよう努めてまいります。



【研修会の様子】

## ◆ 消防法違反を防止するための講話を実施

### 埼玉県南西部消防局（埼玉）

埼玉県南西部消防局では、令和4年10月28日（金）、公益社団法人埼玉県宅地建物取引業協会南支部主催の「宅建オープンセミナー」で消防法違反を防止するための講話を実施しました。

これは、消防法違反となることを認識せずに、増改築、接続、用途変更等を行うケースが依然として多い状況であることから、不動産関係の業種の方が集まる同セミナーで、契約の段階において法令遵守を周知することを目的として講話を実施したものです。

今後も、消防法違反を未然に防ぐ取り組みに努めてまいります。



【研修の様子】

## ◆ 住宅用火災警報器の広報の業務委託式を実施

### 真庭市消防本部（岡山）

真庭市消防本部では、令和4年10月28日（金）、当消防本部庁舎内において、住宅用火災警報器の広報の業務委託式を実施しました。

これは、広報活動の一部について包括連携協定を締結している日本生命保険相互会社岡山支社に対し、住宅用火災警報器の広報活動の業務委託を行ったものです。

岡山県下14消防本部は、秋季全国火災予防運動に併せ、「11月10日は住宅用火災警報器のイイテンケンの日」キャンペーンを実施しています。

今後は、同社の営業職員が、キャンペーンチラシと各消防本部でデザインしたチラシ入りポケットティッシュを配布する予定となっています。本件はその一貫です。



【業務委託式の記念撮影】



【キャンペーンチラシとポケットティッシュ】



## ◆ 「消防署開放デー」を開催

### 茨木市消防本部（大阪）

茨木市消防本部では、令和4年10月29日（土）、当消防本部西河原分署において、「消防署開放デー」を開催しました。

このイベントは、消火、がれき救助の体験などの子どもが楽しめる各コーナーを設置し、特別救助隊「スペシャルレスキューアームズ」によるロープ救助訓練を披露したものです。

当日は、約400人の来場者があり、普段、あまり間近で見ることのない消防署の様子を楽しみながら、興味深く見てもらい、火災予防への関心を高めてもらうことができました。



【イベントの様子】

## ◆ 火災予防イベント「消防ひろば」を実施

### 石狩北部地区消防事務組合消防本部（北海道）

石狩北部地区消防事務組合では、令和4年10月30日（日）、管内の商業施設において、火災予防イベント「消防ひろば」を実施しました。

このイベントは、全道秋の火災予防運動の一環として、住民の防火・防災意識の高揚を図るとともに、消防をより身近な存在と感じてもらうことを目的として実施したもので、今年度は3年ぶりの開催となりました。

当日は、大型高所放水車の乗車ブースや訓練用消火器を用いた消火訓練ブースのほか、子ども用防火服を試着できるブースがあり、石狩消防署のオリジナルキャラクター「FDレッド」と一緒に記念撮影する姿が見受けられました。

また、各ブースでスタンプを集めると防火啓蒙品がもらえるスタンプラリーも開催されており、多くの来場者からご好評をいただきました。

今後も、住民のさらなる防火・防災意識の高揚を図り、消防の魅力を伝えることができるよう積極的に広報活動を実施してまいります。



【イベントの様子】

◆ 「ランチパック」のパッケージを活用した広報を開始

新発田地域広域事務組合消防本部（新潟）

新発田地域広域事務組合消防本部では、令和4年11月1日（火）、秋の火災予防運動に併せて、山崎製パン株式会社と連携し、同社の人気商品である「ランチパック」のパッケージを活用した広報を開始しました。

これは、12月31日（土）までの2か月間で、住宅用火災警報器の設置、維持管理の促進に向けたメッセージを掲載した商品を販売していただくものです。

商品は、新発田市特産いちごの越後姫を使用したジャムとホイップをサンドしたもので、消防の赤をイメージしたものとなっています。

「ランチパック」は幅広い世代になじみのある商品ですので、広報の効果は抜群です。

今後も、効果的な広報を企画してまいります。



【商品パッケージ】



【販売状況】

◆ 伊丹大使を起用したオリジナル火災予防啓発ポスターを作成

伊丹市消防局（兵庫）

伊丹市消防局では、令和4年11月1日（火）、秋季全国火災予防運動に当たり、伊丹大使を起用したオリジナル火災予防啓発ポスターを作成しました。

ポスターのデザインは、今年3月に伊丹大使に就任した花村想太さん（令和3年「第63回日本レコード大賞」を受賞した5人組アーティストDa-iCE（ダイス）のボーカル兼パフォーマー）を起用しました。花村さんには、当市の応援団として、まちの魅力のPRやイメージアップだけでなく、火災予防の啓発活動にもご協力をいただきました。

このポスターは、市関係施設、事業所、市営バス等に掲示します。

また、同予防運動に向け、SNSで住宅用火災警報器の重要性についても広報を行います。



【火災予防啓発ポスター】



## ◆ 消防車の写生画等を車体に掲示したスクールバスの出発式及びVR等の出前授業を実施

岡山市消防局（岡山）

岡山市消防局では、令和4年11月1日（火）、岡山市立山南学園において、児童らが描いた消防車の写生画等を車体に掲示したスクールバスの出発式を実施し、それに併せて小学3年生を対象に、住宅用火災警報器等の重要性を知ってもらうための出前授業を実施しました。

出前授業では、VR（仮想現実）ゴーグルを使用した火災の疑似体験のほか、祖父母や両親に渡す住宅用火災警報器の設置・点検を促すポストカード作りを行いました。

また、このほかにも同学園と同じ地区にあるホームセンターに、11月末日までの1か月間、住宅用火災警報器の特設コーナーを設置し、地域全体で住宅用火災警報器の普及・啓発を実施しました。

今後も、官学民が連携し、住宅用火災警報器の設置及び点検率の向上に取り組んでまいります。



【スクールバス出発式の記念撮影】



【出前授業の様子】

## ◆ 防火図画表彰式を実施

河内長野市消防本部（大阪）

河内長野市消防本部では、令和4年11月6日（日）、防火図画表彰式を実施しました。

これは、当消防本部が夏休み期間に併せて、市内の小・中学校に防火図画を募集したところ、184作品の応募があり、その中で特に優秀な7作品を描いた児童7名に対して、表彰状と記念の盾を贈呈する表彰式を実施したものです。

応募された作品は、絵具やクレヨンで描かれていて、消防士の生き生きとした活動を描写したものや、火事で大事なものを失う心の痛みを表したものなど、豊かな感性と表現力に目を奪われるものばかりでした。

なお、市長賞に輝いた小学6年生の作品は、最優秀作品としてこれから防火ポスターとなり、市内で火災予防を呼びかける大事な役割を担うこととなります。



【表彰式後の記念撮影】



【最優秀作品】

◆ 火災現場で負傷した際に着用した防火服（一部焼けた状態）の特別展示を開始

名古屋市消防局（愛知）

名古屋市消防局では、令和4年11月9日（水）、名古屋大学減災館において、消防隊員が火災現場で負傷した際に着用した防火服（一部焼けた状態）の特別展示を開始しました。

これは、名古屋大学減災連携研究センターが主催する「まちづくりと都市火災」で展示する過去の火災資料に併せて、火災現場の過酷な活動を示す資料を特別展示するものです。

この特別展示は、令和5年1月27日（金）まで開催します。午後1時から午後4時までの開催（入館は午後3時30分まで）で完全予約制となりますので、名古屋大学減災連携研究センターホームページからお申し込みください。



【火災現場で燃えた防火服】



【申し込み先二次元コード】

◆ ドキュメンタリー動画をYouTubeで配信

神戸市消防局（兵庫）

神戸市消防局では、令和4年11月9日（水）、通信指令員が取り組んでいる5つのルールを紹介するドキュメンタリー動画をYouTube「kobecitychannel」で配信しました。

119番通報を行うことは、通報者にとって一生のうちに一度あるかないかのことで、大切な人が倒れた時に冷静に通報することは非常に困難なことです。

これは、今後、起こり得るかもしれない大切な人の命を守るために、119番通報の仕組みや正しい通報の仕方を学んでほしいとの思いから作られた約15分間の動画です。

二次元コードをスマートフォンで読み取っていただき、ぜひ、ご覧ください。



【動画サムネイル】



【動画配信二次元コード】



## 国等の動き

### 消防庁通知等

#### ◆ 北朝鮮による弾道ミサイル発射事案への対応について

(消防国第170号、消防運第67号、令和4年11月3日)

消防庁国民保護・防災部防災課、国民保護室長、国民保護運用室長から各都道府県国民保護担当部局長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

北朝鮮による弾道ミサイル発射への対応については、「北朝鮮による弾道ミサイル発射事案への対応について」(平成29年9月22日付け消防国第79号、消防運第59号消防庁国民保護・防災部長通知)にてお願いしてきたところです。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/221103\\_kokuho\\_1.pdf](https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/221103_kokuho_1.pdf)) に掲載されています。

<連絡先>

消防庁国民保護室・国民保護運用室

栗山係長、戎、吉田、重富、岸

TEL:03-5253-7550

E-mail:j-alert@ml.soumu.go.jp

#### ◆ オミクロン株対応ワクチンの接種促進のための更なる取組推進について(依頼)

(事務連絡、令和4年11月4日)

消防庁消防・救急課、救急企画室、国民保護・防災部地域防災室、国民保護・防災部広域応援室から各都道府県消防防災主管部(局)あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

平素より、消防行政に御理解と御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

救急隊員等(※)への4回目接種については、これまで、「新型コロナワクチンの4回目接種の対象拡大について」(令和4年7月22日付け消防庁消防・救急課、消防庁救急企画室、消防庁国民保護・防災部地域防災室、消防庁国民保護・防災部広域応援室事務連絡)[別添3]により、新型コロナワクチンの4回目接種の対象者に加えられたことのお知らせするとともに、救急隊員等の4回目接種が速やかかつ円滑に実施されるよう依頼をしたところです。(別添3省略)

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/omikuronwakutin.pdf>) に掲載されています。

#### 【問合せ先】

消防・救急課	田邊	松本	小山	TEL:03-5253-7522
救急企画室	飯田	岡澤	石田	TEL:03-5253-7529
地域防災室	村上	矢後	青野	TEL:03-5253-7561
広域応援室	奥田	二瓶	栗山	TEL:03-5253-7527

◆ 令和4年1月から同年6月までに発生した製品火災に関する調査結果について  
(事務連絡、令和4年11月8日)

消防庁予防課から各都道府県消防防災主管課あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

令和4年1月から同年6月までに発生した製品（自動車等、電気用品及び燃焼機器）の不具合により発生したと消防機関により判断された火災(以下「製品火災」という。)の調査結果を別添のとおり取りまとめましたので、送付します。(別添省略)  
—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ  
([https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/221108\\_yobou\\_1.pdf](https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/221108_yobou_1.pdf)) に掲載されています。

【問合せ先】

消防庁予防課予防係 佐藤・秋吉  
電話：03-5253-7523  
Mail：[yobouka-y@ml.soumu.go.jp](mailto:yobouka-y@ml.soumu.go.jp)

**報道発表**

◆ 令和4年秋の褒章（消防関係）

(令和4年11月2日、消防庁)

令和4年秋の褒章（消防関係）受章者は107名で、褒章別内訳は次のとおりです。

紅綬褒章	1名
黄綬褒章	7名
藍綬褒章	99名
計	107名

(受章者名等は、別添の受章者名簿に記載されています。)(別添省略)

発令年月日 令和4年11月3日(木)

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ  
([https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/221102\\_soumu\\_01.pdf](https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/221102_soumu_01.pdf)) に掲載されています。

連絡先

消防庁総務課  
泉水政策評価広報官・横堀係長・監物事務官  
Tel 03(5253)7521 内線 42173  
Fax 03(5253)7531



◆ **第39回危険業務従事者叙勲（消防関係）（10月31日付け 人数変更）**  
**（令和4年11月2日、消防庁）**

第39回危険業務従事者叙勲（消防関係）受章者は、625名で勲章別内訳は次のとおりです。

瑞宝双光章	297名
瑞宝単光章	328名
計	625名

（受章者名等は、別添の受章者名簿に記載されています。）（別添省略）

発令年月日 令和4年11月3日（木）

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ  
([https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/221102\\_soumu\\_1.pdf](https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/221102_soumu_1.pdf)) に掲載されています。

連絡先 消防庁総務課 泉水政策評価広報官・横堀係長・監物事務官 Tel 03(5253)7521 内線 42173 Fax 03(5253)7531
--

◆ **令和4年秋の叙勲（消防関係）**  
**（令和4年11月3日、消防庁）**

令和4年秋の叙勲（消防関係）受章者は621名で、勲章別内訳は次のとおりです。

瑞宝中綬章	1名
瑞宝小綬章	39名
旭日双光章	5名
瑞宝双光章	50名
瑞宝単光章	526名
計	621名

（受章者名等は、別添の受章者名簿に記載されています。）（別添省略）

発令年月日 令和4年11月3日（木）

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ  
([https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/221103\\_soumu\\_01.pdf](https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/221103_soumu_01.pdf)) に掲載されています。

連絡先 消防庁総務課 泉水政策評価広報官・横堀係長・監物事務官 Tel 03(5253)7521 内線 42173 Fax 03(5253)7531
--

#### ◆ 町村長を対象とした「全国防災・危機管理トップセミナー」の開催

(令和4年11月7日、消防庁)

災害時には、短期間のうちに膨大な業務に対応・処理することが求められ、町村長はリーダーシップを十分発揮し、的確な災害危機対応を行う必要があります。

そのため、町村長の危機管理意識の一層の向上を図り、町村の災害対応力の向上等につながるよう、全国の町村長を対象とした「全国防災・危機管理トップセミナー」を開催します。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/221026\\_bousai\\_1.pdf](https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/221026_bousai_1.pdf)) に掲載されています。

<連絡・問合せ先>

消防庁国民保護・防災部防災課

鈴木補佐・早勢係長・田村事務官

Tel 03-5253-7525 Fax 03-5253-7535

Mail [bousaikikaku@soumu.go.jp](mailto:bousaikikaku@soumu.go.jp) (取材希望送付先)

#### ◆ 令和4年秋季全国火災予防運動の実施

(令和4年11月8日、消防庁)

令和4年11月9日(水)から11月15日(火)まで『令和4年秋季全国火災予防運動』が全国各地で実施されます。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/221108\\_yobou\\_1.pdf](https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/221108_yobou_1.pdf)) に掲載されています。

【問い合わせ先】

消防庁予防課 濱田・佐藤

TEL : 03-5253-7523

FAX : 03-5253-7533

#### ◆ 「地域防災力充実強化大会 in 奈良2022」の開催

(令和4年11月8日、消防庁)

平成25年12月に施行された「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律(平成25年法律第110号)」の趣旨を踏まえ、消防団を中核とした地域防災力の充実強化を図るとともに、地域住民や自主防災組織をはじめ、教育、医療、福祉関係者等を含めた各界各層の連携を深めることを目的として「地域防災力充実強化大会 in 奈良2022」を開催します。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/b5d6a5370ae12d854c6a1048b50ede702213ef4e.pdf>) に掲載されています。

【連絡先】

消防庁国民保護・防災部地域防災室

(鈴木補佐、青野係長、高橋事務官)

TEL : 03-5253-7561 FAX : 03-5253-7576

E-mail : [chiikibousai@ml.soumu.go.jp](mailto:chiikibousai@ml.soumu.go.jp)



## 情報提供

### ◆ 消火器の廃棄窓口に関する周知のお願い

#### 一般社団法人日本消火器工業会

一般社団法人日本消火器工業会では、全国に約5,000カ所に消火器回収窓口を設置し、不要になった消火器の回収・リサイクルを進めています。

当工業会が行った調査によると、一般家庭にある消火器のうち、2割以上が使用期限を超えて設置されているとの結果が出ています。古くなった消火器を交換・廃棄せずにそのまま放置すると、消火器容器の劣化等により、薬剤の噴出や破裂事故の恐れがあります。

当工業会（委託先 消火器リサイクル推進センター）では、インターネットや電話でお近くの消火器回収窓口などをご案内しています。老朽化消火器による破裂事故防止のためにも、住民の方などから消火器の廃棄に関するお問い合わせの際、適切な廃棄先がない場合は、ぜひご活用ください。

※エアゾール式消火具や消火弾などは回収対象外となりますのでご注意ください。

### 消火器の廃棄窓口

廃 消 火 器 回 收 窓 口	<b>特定窓口</b> 全国 約5,000カ所	<b>「引き取り（訪問）」と「持ち込み」に対応。</b> 特定窓口とは消火器ユーザーから廃消火器を廃棄物として引き取る窓口です。消火器工業会が廃消火器の収集・運搬・保管を委託した、広域認定範囲内の事業者窓口です。
	<b>指定引取場所</b> 全国 約200カ所	<b>「持ち込み」に対応。</b> 指定引取場所とは廃消火器の引き取り窓口です。消火器ユーザーや特定窓口が廃消火器を持ち込む施設で、消火器工業会が指定した消火器メーカー営業所、廃棄物処理業者等です。

消火器リサイクル窓口検索ページ (<https://www.ferpc.jp/accept/>)

お問い合わせ 消火器リサイクル推進センター 03-5829-6773



## 機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

### ①トップ・セカンド記事

### ②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

### ③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0416）1ページ、機関誌「ほのお」2022年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」担当：企画課 高田

原稿データは、[kikakoho@fcaj.gr.jp](mailto:kikakoho@fcaj.gr.jp)に送信願います。

### ④消防ワイド

#### 【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

#### 【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方にのみ掲載することがあります。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 高田

原稿データは、[honoo@ffaj-shobo.or.jp](mailto:honoo@ffaj-shobo.or.jp)に送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

## 週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

#### 【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

#### 【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。  
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方にのみ掲載することがあります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。

TEL：03-3234-1321 「週間情報」担当：企画課 石原

原稿データは、[weekly@fcaj.gr.jp](mailto:weekly@fcaj.gr.jp)に送信願います。